

2025年度 枚岡 NC 6月行事報告書

2025.6.25 写真（石田・石井）文（石井）

①行事名 「アジサイ園ハイク」

②ねらい

・初夏に咲く花を中心に観察し額田園地アジサイ園を目指してのハイキングを楽しむ

③実施日 2025年6月22日（日） 午前9時30分～16時15分

④場所（コース）

枚岡公園事務所前～双子塚～額田園地～双子塚下～コブシの辻～枚岡公園事務所前

⑤参加者 一般参加者 4名 スタッフ 7名 ドングリの会1名

⑥観察会内容

9:25 はじめの会 ・会長挨拶・スタッフ紹介・本日の流れと留意事項

9:35 準備体操

9:45 総勢12名で公園事務所トイレ前を出発。曇り空でそれ程暑くはない。

昨年より遅く開花したネムノキだが地面に落ちていたので観察。あたりにはネムノキの花の良い香り漂う。モクゲンジの黄色い雄花も落ちていた。雄しべが飛び出た少し不思議な形の花を観察。その後大きな実をつけたテウチグルミや果実のついたハナйкаダを観る。



（ちっちゃ！）



【モクゲンジ雄花】



【ハナйкаダ 果実】

10:15 中展望でお茶休憩。暑さのせいか景色が霞んでいる。

ヤマモモの赤い実が落ちている。見上げると上の方に果実が見えた。いつもより少ない。カマツカやゴンズイ、ガマズミなどの緑色の果実や足元の白いホタルブクロ、もう花は終わりかけ細い果実が飛び出しているクラウを観ながらクヌギの丘に到着。双子塚は目の前だが涼しい風が吹いてきたので小休止。



【ガマズミ 果実】



【ホタルブクロ】



（ヤマモモの赤い実が）

11:00 双子塚から摂河泉展望コースに入る。

ティカカズラの甘い香り、ナナミノキの艶やかな葉、コマツナギの鮮やかな花色を楽しむ。今回初お目見えのオオカモメツルをルーペで見てもらう。花びらに白い毛があることを確認。タタラ山ではコケの世界をルーペで覗きその不思議に声が上がる。参加者とスタッフの和気あいあいとした時間。山の斜面や目の前、頭の上にクマノミズキの巨木の花が広がる。今年はこの時期クマノミズキだらけだ。例年にないことだ。



【オオカモメツル】



【クマノミズキ】



（これ、美味しいかも）

12:20 昼食はやはりトンネルの横の広場。下りてくる方は多いが食事をされている方は少なくゆっくり昼食を摂った。

食事場所から少し下るとササユリが2輪かろうじて残っていた。イワガラミも年々大きく育ち高いところまで花をつけている。トンネルの上のビックリグミやナツグミを試食し顔を歪めながらアジサイ園を目指す。ニワトコの赤い実がまだ残っている。コンクリートの壁に這っているイワガラミの葉をもむと「キュウリの匂い！！」ヤブムラサキの葉の感触を確かめ五感を使っの観察をする。



【ササユリ】



【ニワトコの果実】



（イワガラミの葉、何の匂い？）

13:30 額田園地アジサイ園に到着。

かき氷に目がいくがまずはアジサイを楽しもう。3日前の下見より色が鮮やかだ。ガクアジサイ・ホンアジサイの装飾花と両性花を観る。シチダンカはよく咲きベニガクの装飾花の赤も美しい。ハコネウツギの芽には虫こぶがいっぱい。ウツギメタマバエが卵を産み付けるそう。かわいそうなくらい虫こぶだらけだ。いつものように全体写真を撮り、今回初めて観察のツチアケビへと向かう。20本近く花茎があり花も開き始めていた。名前と花の色に関心が向かう。ミヤコアオイの花（果実）もじっくり見て、いよいよクールダウン。冷たい飲み物やかき氷に舌鼓を打って体力回復。



【ベニガク】



【ツチアケビ】



(きれいなね～)



(集合写真、パチリ！！)



(タタラ山で休憩中、あと少し)

14:45 下山開始

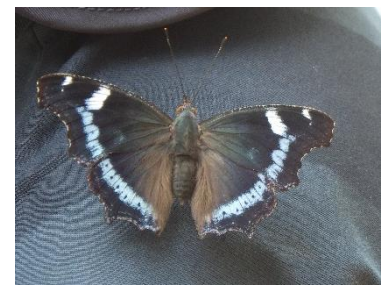
皆さん、元気に快調に足が進む。途中カラスビシャクを見つけ、葉の真ん中にあるムカゴは「嫁のへそくり」などという説があったと話すと笑い声が上がった。双子塚からそのまま額田バイパス南へと回り、ホタルカズラの果実を観た。その後、公園事務所に全員無事に帰ってきた。



(ホタルカズラの果実)



(ホタルカズラの花 4月)



(参加者の肩にルリタテハ)

16:10 終わりの会をし参加者の方々の声をいただいた。

- ・楽しくアジサイ園まで行けてよかった。
- ・今までちゃんと見ていなかったの、色々教えてもらってよかった。
- ・草花のことを教えてもらって勉強になった。
- ・想像以上に教えていただきとても勉強になった。とくにシチダンカは自分が思い違いをしていたので、今日わかってよかった。